

島おこし協力隊ミッション

ミニコラム9

弓削高校のPRも頑張っています！

ゆめしま未来塾では、日々の塾生への学習指導のほか、町内外へ弓削高校の魅力を発信することにも力を入れています。

「学校の中にある塾」として、ゆめしま未来塾の存在そのものが弓削高校の魅力のひとつです。一人でも多くの生徒に「ゆめしま未来塾があるから、弓削高校に行こう！」と思ってもらえるように、公営塾ならではの学びについて広報しています。

9月には、岩城中学校から出前授業の依頼があり、事前に中学校の先生と相談した上で、「食」をテーマにした国際理解教育の授業を3年生を対象に行いました。元氣いっぱい、積極的な生徒ばかりで、授業をしている私とても楽しかったです！特に印象的だったのは、食にまつわるお題でビンゴをしたとき。「自分で魚を捌いたことがある」「野菜や果物を自分で育てたことがある」という設問にyesの

生徒さんがとても多い！さすが、上島町の中でも農業が盛んな岩城の子どもたちだなと感心しました。

11月初旬には、県外から弓削高校への進学を検討している中学生が対象の学校説明会があり、公営塾も参加しました。全国から29組、70人以上の中学生と保護者の皆さんが参加してくださり、弓削高校への理解を深めていただきました。

当日私は町内ツアーのガイドを担当したのですが、必要なインフラがコンパクトにまとまっていることに好感を抱いてくれた方が多かったようです。また、太陽がきらきら光る瀬戸内海の風景に感動している方もいました。中学生の皆さんは、弓削高校で過ごすかもしれない3年間を想像して、期待や夢を語ってくれました。また来年も新しい県外生が弓削高校にやってきます。特に新設の寮のお近くに生まれている町民の皆さまには、ご理解ご協力いただくこと



ゆめしま未来塾
栗石 まどか

が多々あると思いますが、弓削高校、そして上島町の未来のために、希望を持って弓削島にやってくる高校生たちをあたたく迎えていただけると嬉しいですよ！引き続き、弓削高校魅力化プロジェクトへの応援、よろしくお願います！



▲ 岩城中での出前授業



▲ 町外中学生のガイドツアー

ゆめしま未来塾



こんにちは、ゆめしま未来塾講師の井上です。早いもので協力隊として赴任して2年目となりました。1年目で培った経験を踏まえて、2年目は新たなことに挑戦していこうと、テーマとして「講座の充実」を掲げました。

3年生は受験もあり比較的通塾率が

協力隊2年目のテーマ設定

高いので、これまでも疑似的な講座をいつも実施してきましたが、1、2年生を対象とした本気の講座に取り組んでいます。講座の人気はやはり、「数学」です。一人で考えてもなかなか進めることが出来ない点が塾生からも支持される理由なのかもしれません。

また、検定対策講座「英検、簿記検定、ビジネス計算検定」なども人気があります。10月からスタートして執筆時点(11月中旬)ですでに1か月経過しましたが、自学自習で塾に来るよりも、明確な目的意識と講師とその時間に約束しているため、参加のモチベーションが高

いように感じます。1年生はこれから難しくなる高校数学にしっかりついていけるように、また2年生は目標としている検定に合格し、進路の選択肢をたくさん持てるようになってもらえたら嬉しいですね。ということで、また春ごろ報告できたら幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



ゆめしま未来塾
井上 武

島おこし協力隊（サイクリング振興）



▲ 家の前の景色。帰ってくるたびにこの景色にほっと癒されます。

こんにちは。サイクリング振興の豊田です。上島町で過ごすのはじめての冬は、勝手なイメージで瀬戸内海は温暖だからそんなに寒くないのかなと思っていましたが、もう11月から家はお風呂に入るのが億劫になるほど寒く、暖房をつけ真冬の布団で寝ています。案外寒く驚きました。

上島町の魅力とは・・・

上島町に移住してから、週末は、北は広島市や鞆の浦、南は佐田岬や松山などあちこち自転車を持って出かけています。訪れる場所はどれも違った趣、楽しさがありますが、やはり上島町に帰ってみると、交通量が少ない、信号がない、トイレがきれい、そして海沿いの道が続く景色が変わる楽しさ、この環境は他にはないと感じさせられます。

ですが一方で、サイクリストや観光客の方、また宿の管理をしている方とお話しをすると「ゆっくりとした島時間が好きだから、人があまり増えてほしくない」と思われる方や、「インバウンド



サイクリング振興
豊田 遥

魚島離島留学

こんにちは。魚島さまざまなみ寮のハウスマスターの大塚です。2学期に入り、子ども達も参加する運動会、お祭り、亥の子など行事が増えてきました。亥の子は、留学生はもちろん、私も初めて見る行事でした。そんな中、何気なく「もうすぐハロウィーンだね～」と一人の留学生が言ったことをきっかけに、10月29日に「逆ハロウィーン」を行うことになりました。

逆ハロウィーンとは、本来お菓子をもらいに行く子ども達が、日ごろの感謝の気持ちを込めて、自分達でお菓子を作りそれを島の人達に配るというもの。事前にみんなで集まり、ポスター

や仮面を作りました。ポスターは一人でも多くの方が来てくれるように願いながら、合計11か所に貼りました。

当日は、朝からみなでお菓子作りです。2チームに分かれ、スコーンとクッキーを作りました。留学生は普段、土曜日の夜ご飯は自分たちで作るようになって、調理にはだいぶ慣れてきましたが、お菓子となると不慣れな子が多く、得意な子に聞きながらチームワークよく作っていました。できあがりを味見（つまみ食い）をしながら、少量ずつ包装し120個ほどできあがりました。いざ配るところになると、みんな「こんなに配れるのか、余ったらどうしよう・・・」と不安

季節のイベント

になりましたが、予定時間の15分前からたくさんの方が集まって下さり、配り始めてからはみんな笑顔でいっぱいでした。取りに来るのが難しい方には、みなでお菓子を持って家まで行き、「自分たちで作ったので食べてください!」と渡しに行きました。

地元にいたら体験できない行事と、島にいてもやりたい行事を織り交ぜながら、みんなで楽しい離島留学にしております。



魚島離島留学
大塚 恵